



■ 「修学旅行を終えて」 勿来高等学校長 木村 敏明

10月1日(月)19:10、平成30年度2学年の修学旅行団がすべての行程+αを終え無事に学校に帰着しました。本来なら9月28日(金)に帰ってくる予定でしたが、台風の影響により3日間の追加滞在を余儀なくされました。今号の「勿来高だより」では、修学旅行特集として、この時の様子などをお伝えしたいと思います。

9月25日(火)8:00、昇降口にて出発式を行いバスに乗り込みました。



茨城空港では、自衛隊機の離陸時の爆音に迎えられました。お行儀良く手荷物検査を通過し、飛行機に搭乗します。ほとんどの生徒が飛行機初体験。期待と不安が入れ乱れます。離陸時のGに耐えきれず「キャー」「うわぁ」の黄色い声が乱れ飛びました。どこの修学旅行でもおさまりの反応です。



に搭乗します。ほとんどの生徒が飛行機初体験。期待と不安が入れ乱れます。離陸時のGに耐え

到着した沖縄の天候は曇り、気温もさほど高くなく過ごしやすい感じでした。那覇空港でベテランのガイドさんと現地添乗員さんに出迎えられバスで移動しました。最初の見学場所は「沖縄平和祈念資料館」、戦争で亡くなった方々の慰霊碑、不発弾ほか様々な展示物を見学しました。リアルな展示が多く、ドキドキしながら進んでいました。



次に訪れたのは、「ひめゆり平和祈念資料館」。ひめゆりの塔の前で黙祷、献花を行い資料館を見学しました。



ホテルに到着後すぐに夕食を取りました。豪華なバイキング料理に舌鼓です。夕食後は語り部の中村さんより「戦争講話」をしていただきました。み



んな真剣な目をして話を聞き入っていました。講話後中村さんより、「聞く態度が素晴らしい」と、お褒めの言葉をいただきました。



9月26日(水)、まずは世界遺産の「首里城」見学です。バスでの移動時スコールのような雨に見舞われましたが、首里城に到着する頃には雨もやみスムーズに見学できました。中も外もとにかく朱色が目に飛び込んできます。



次に、糸数アブチラガマを見学しました。真っ暗な壕の中で聞く戦争の話は切なかったです。

この日の午後は、「国際通り」で自由時間。思い思いに昼食を取り、買



い物に勤しんでいました。県庁前集合時には、みんなお土産を両手に抱えて帰ってきました。そんなに買ってどうするの？

ホテルに向かう途中、道の駅かでなに立ち寄り、



米軍基地を見ました。その広さに圧倒され沖縄の負担を実感しました。その後、ホテルには早めに到着したので、プライベートビーチを散策しました。ヤドカリや小魚と戯れることができました。

9月27日(木)、この日はマリンスポーツも予定されていましたが、海が荒れていたため、全員「むらさき村」での体験活動となりました。吹きガラス・琉球藍染め・フォトフレーム・シーサー絵付け・ラ



ンプ作りなど各々体験しました。お昼は古民家「大家」で沖縄そばをいただきました。雰囲気も味も最高でした。

午後は、「美ら海水族館」です。いわきのアクアマリンとは規模が違いま



す。ジンベイザメの餌付けは圧巻でした。

9月28日(金)最終日？のはずでした。ホテルで朝食を済ませた頃、午後から那覇空港閉鎖との連絡が入りました。複雑な心境のまま「おきなわワールド」



に向かいます。玉泉洞は不思議な世界でした。鍾乳洞を出ると観光施設に

なっており、様々なものが見られます。「エイサー」も見ることができました。本来なら



ここから空港に向かうのですが、飛行機が飛ばないので新たに泊まる準備となりました。ショッピングモールで急遽買い出しです。

添乗員さんが必死で宿を探し、なんとかホテルを確保できましたが、夕食が準備できないということ

で、急遽ステーキハウスでの食事となりました。シェフが調味缶などをジャグ



リングしながらお肉を焼く姿は一つのエンターテイメントとなり塞いだ気持ちを癒やしてくれました。

9月29日(土)、台風が目の前に来ました。しかし、ホテルに連泊できないので、嵐の中次の宿に向かってタクシーで移動しました。もうずぶ濡れです。



9月30日(日)、なんとか台風は去りました。しかし飛行機は不安定なのでこの日も泊まりです。午前中は洗濯などをし、午後は、2度目の「国際通り」自由行動となりました。それなりに楽しめました。

10月1日(月)、モノレールで那覇空港に向かい午後の飛行機に乗ることができました。19:10 学校帰着。家族に会えてホッ。みんな！お疲れ様！